

~ * 水を使わない フェルト * ~

作り方は 簡単！

ニードルパンチ



さあ 作ってみよう！

羊毛をきつめに巻いて、針を刺して固めボールにし、模様は、羊毛や毛糸を上のにのせ、針で刺してつけます。(針はまっすぐに刺して下さい。曲げると折れることがあります)



注意：針の先は大変鋭くなっています。小さいお子様の手の届かないように保管して下さい。



既成のセーターに、紡ぎ糸、羊毛をつけました。
小さな穴やフェルトの補修にもどうぞ。

せっけん水を使う普通の方法でフェルト靴を作り、
飾りは針で染色原毛をつけました。



綿のかばんの飾りつけにも羊毛や紡いだ糸がつけられます。



麻のランチマットに、染色原毛や毛糸、ネップなどをつけました。

胴体はスライバー（羊毛を洗って整毛してある状態）を丸めて針で刺してかためて、周りの毛は刈り取ったままの羊毛の房をそのまま手洗いしてレインボー染めの羊毛をつけて刺しました。



せっけん水を使う方法でフェルト帽子を作ります。



グリーフリースを針でつけていきます。

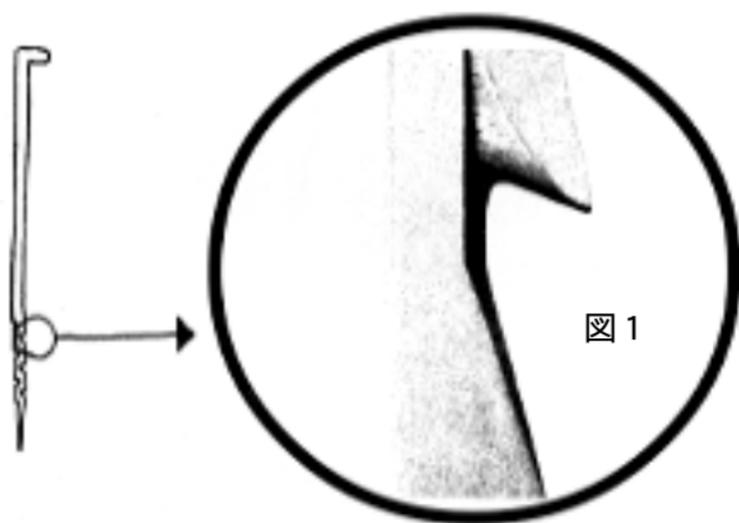


帽子全部につけると・・・

羊毛の天然の色、毛質をそのままいかしました。

どうして針を刺すと固まるの？

針の先を拡大すると、図1のようにトゲがあります。



針で繊維を刺すと、針の先のトゲが、繊維をひっかけて奥に押しこみ、繊維を深く残してきます。



針を刺し続けると繊維がからみ合い、フェルト化していきます。

ニードルパンチという機械が以前からありました。針が剣山の様に無数に植えられていて、激しく上下し、そこを通る繊維をフェルト化させる大きな機械です。その機械についている針を1本、手に持って使うということです。